

軸糸ダイニン調節複合体（DRC）の機能に関する研究

池淵 馨, 堀 学

(山口大・院理工)

【要旨】 ゾウリムシは, 細胞体を覆う繊毛の運動頻度だけでなく方向も制御し, 個々の繊毛運動を同調させウェーブを起こすことで遊泳行動を行う。繊毛軸糸には, 分子モーターであるダイニンが含まれており, 他の繊毛タンパク質から複雑な活性制御を受けることで繊毛の動力として機能する。本研究では軸糸ダイニンの活性制御におけるダイニン調節複合体（DRC）の機能を明らかにするために, RNAi による機能解析を行った。その結果, DRC が繊毛打波形の形成に重要な役割を持つことがわかったので報告する。